



地域保健部長としての 2年間を振り返って

地域保健部 部長
後藤 聡

早いもので、私が北海道医師会の常任理事に就任して2年間が過ぎてしまいます。子どもの頃は早く大人になりたいとあれだけ思っていたのが、年齢を経るとともに、月日の過ぎるのは、矢のごとく早いものです。

北海道医師会から私に与えられた役目は、地域保健部長です。これは私にとっては非常に好ましい役職でした。

この2年間を振り返って見ると、本当に種々の経験をさせていただきました。初めのお誘いいただいた時の誰かの言葉“ただ、月に数回札幌へ行けば良いだけです”というのは真つ赤な偽りでした。

私の仕事の持ち分が少し多いのかどうかは分かりませんが、13回札幌出張という月もありました。この3月には5日間連続して旭川－札幌間往復という事態も経験しました。

ただ、私自身もややワーカホリック気味なところもあり、予定表が埋まっていないと不安になります。ある意味では、好ましい事態でもありました。

今までは全く無縁だった、糖尿病、鬱病、肥満対策等の講演会で司会を何度もさせていただきました。それこそ、全道各地を回りました。勉強になりました。同じ糖尿病でも、演者の疾病に対するアプローチが異なるとその予防、対応も少し違うような感じもいたしました。肥満の講義だけは結局私には何ら効力を発揮してはくれませんでした。

そういえば、私自身が“脳卒中の話”という講演までする破目にもなりました。札幌駅前の読売ホールでした。頼みにしていた講師に断られ、窮余の策でした。当然、脳外科の教科書類は全部始末してしまったので、何冊か久しぶりに医学書を購入しました。ネットでもいろいろと調べて、特に血管内手術の進歩を目の当たりに実感いたしました。今はいろいろなことが動画で手に取るように見ることができます。私の学生時代にもああいうものがあつたら、もうちょっと優秀な学生になれたような気持ちもしました。

この講演は準備には結構な苦勞をしたのでもう一度再演の機会を狙っています。臨床研修医対象のモーニングセミナー程度はできるかなと思いましたが。自分のレパートリーを増やす良い機会をもらっ

たと思っています。

私は何も判ってはいない牛乳の消費量増大のキャンペーンのラジオ出演の機会もありました。これも良い経験だったと思っています。4回分の用意された原稿をアナウンサーの質問に受け答えする形式でした。もっとも一度も自分の声をラジオで確かめることもありませんでしたが…。面白い経験でした。

その他、禁煙活動、健康スポーツ医活動、感染症対策等が私の主たる守備範囲でした。日本脳炎ワクチンの定期接種化とかピロリ菌の中学生への検査推進等は、私が道医に関係しなければ、なにも判らずにいた事柄で、少しは関与できたことに、心から感謝しています。

日本医師会との関係では公衆衛生委員会の途中からの参加がまずありました。委員会の活動半ばからの参加で、積極的に発言をする機会はまずありませんでした。その後、学校保健委員会に参加していますが、今度はまた、ベテランばかりのプロの集団で、私はただ、自分の勉強のために出席するという状態になりそうです。

その他、全国的な学会や講習会にも何度も参加させてもらいました。その結果を、常任理事会等で後日報告するのが、苦手で苦勞しています。他の常任理事の方々はどうして、ああ詳しく的確に報告できるのでしょうか。自分の能力のなさを感じさせられて、いささか寂しくなります。ICレコーダーで録音することを覚えましたが、それを聞き直すわけは当然なく、これからも苦勞しそうです。

許されましたら、もう二年くらいは頑張ろうと思っています。平成28年秋には第47回全国学校保健・学校医大会が京王プラザホテル札幌で開催される予定となっております。日本医師会が主催ですが、当会が担当となり準備を進めています。北海道では昭和47年以来の44年ぶりの開催となります。特別講演には、私の地元である旭川市旭山動物園の坂東元園長に依頼済みです。北海道医師会の会員の皆様にも、いろいろとご協力を仰ぐこととなりますがよろしくお願い致します。

とにかく、北海道医師会の優秀な事務の方々には何かから何まで助けられながらこの2年間で過ごせましたことを感謝いたします。